

活動名：あづま U-12 ガールズフットサルフェスティバル2013

日 程：平成25年2月23（土）～24（日）

会 場：あづま総合体育館

参 加：ガールズクラス（3～6年生）9名

帯 同：小松・安藤・「熊坂」・（設楽）コーチ

結 果：12チーム中11位

対戦相手：1日目 ●ダイナ福島 ●中山なでしこ（山形） ●Craque（宮城）

2日目 ●エステレーラ相馬 ○MEGO 会津 ○リトルエステレーラ相馬

感 想：小松コーチ

FCAllez を立ち上げ10周年を迎える事が出来たこの年に私達は記念すべきあづまU-12ガールズフットサル大会に参加する機会に恵まれました。

この大会は県営あづま総合運動公園が女子の競技力向上と底辺の拡大、同公園の利用促進を掲げ毎年この時期に開いている女子だけのプライベートな大会です。

大会は県内だけにとどまらず山形県や宮城県からも参加があり、女子にとって気兼ねなく戦いに集中出来る数少ない機会です。

このような大会に6年生根本ほのかちゃん、5年生大竹りおちゃん、安藤ももみちゃん、柳沼すみれちゃん、小松ちほみちゃん、4年生曾我なつきちゃん、渡辺ももちゃん、川口ほのかちゃん、3年生小松なつみちゃんの総勢9名の混成チームで参加しました。

他のチームも混成チームがあり、また6年生の単独チームありと昨年のなでしこ効果なのでしょう、女子の底辺が少しずつ拡大しつつあると言う実感を感じました。スポーツ環境が整うと言う事は子供達にとって素晴らしいことで、教育環境も整うと言う事だと思います。非常に嬉しい限りですね。

さて大会内容は、アーレOB 設楽千夏ちゃんが6年生の時にアーレと共に席を置いたチームの福島市にある「ダイナ」がぶっちぎり強さで優勝をきめました。このチームは毎年東北大会や全国大会に出場しており、レベルが違いました。そのような中で、アーレも一生懸命戦い抜きました。

大会は全般的に各チームが男子同様に照準を絞り、相当調整を積んで来ていると言うのが正直な感想です。パスがシステム化されているのにはびっくりしました。

もちろんアーレも数回の練習を重ね調整しましたが、大会での戦いは厳しいものでした。

パスが主体のチームがほとんどでしたので、アーレはクラブ理念の個人で仕掛けるプレーで果敢に挑み続けてくれました。結果は無惨なものになってしまいましたが、育成の側面を考えるとこの敗戦の中にはっきりと個々の課題が浮き上がってきました。

試合は選手のもので生き物です。コーチが介入し過ぎてスポーツの喜びや楽しさを奪ってはいけません。戦いの中で選手はいろいろなものを見つけてくれたと思います。

全員で負けた悔しさや勝った勝利の喜び、点数に左右されずあきらめずに走りきる気持ち、学年に関係なく選手同士をリスペクトする事、サッカーの楽しさ、何よりまたサッカーが好きになったと思います。

ほのかちゃんは後輩たちを引っ張り、すみれちゃんはキーパーを担い、顔でボールや相手を止めました。涙は見せませんでした。

なつみちゃんは3年生の一番小さい学年で、キーパーを2試合も務め、ファインセーブを連発してくれました。

このような頑張りの中で2勝出来た事は選手にとって自信になり、やれば出来る事を確信してくれたと思います。

この大会でプレーを最後とする根本ほのかちゃんは優秀選手を受賞しました。本当にアーレガールズを引っ張ってくれました。ここに帯同コーチとして「ありがとう」と伝えさせていただきます。

またこの2日間は大変な雪に見舞われました。それでも参加して頂いた保護者の皆様には心から感謝申し上げます。女子はこれからです。これからも皆様の溢れる愛情とともに、一緒に子どもたちを育てる事が出来たら幸せです。

これからもどうぞ宜しく御願ひ致します。

最後になりましたが、影に陽向に勤務中なのにも関わらず駐車場の雪かきから大会運営まで本当にありがとうございました設楽コーチ。

これからも県民の為、アーレのため、みんなのために素晴らしいスポーツ環境の創造を宜しく御願ひ致します。

お手伝いで参加してくれた設楽千夏ちゃんもありがとうございました。選手にとって本当に心強かったと思います。初代アーレガールズとして、これからも後輩たちの夢の道を切り開くサッカー人生と、学生生活に打ち込んで下さい。また、福島県 JY 女子選抜選手の決定おめでとう！頑張ってください。

わざわざ応援に来てくれて熊坂コーチもありがとうございました。指導者としての心意気に頭が下がる思いです。

それではこの辺りでガールズブログとさせていただきます。本当にありがとうございました。

